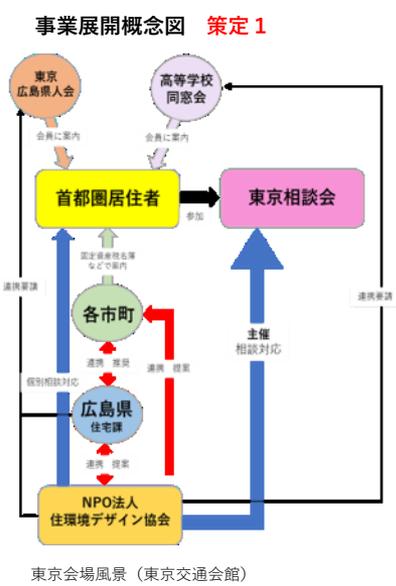


# 官民連携による地方と首都圏をつなぐ空き家流通のネットワークづくり (NPO法人住環境デザイン協会)

課題	①相談者はどこに相談すればよいか不明 ②気軽に相談しにくい雰囲気がある ③空き家相談にワンストップで対応出来る人材・施設の不足
目的	①空き家所有者および活用希望者の発掘とマッチング方法策定 ②気軽にそしてワンストップ対応の相談が出来る官民連携相談体制広島モデル構築
取組内容	①空き家所有者と利活用希望者の発掘方法の策定 ②官民連携相談体制広島モデル構築 ほか
成果	1.首都圏居住者の故郷の空き家所有者発掘方法 2.市町における官民連携相談体制広島モデル ほか

## 1. 首都圏居住者で故郷の空き家所有者発掘／相談対応

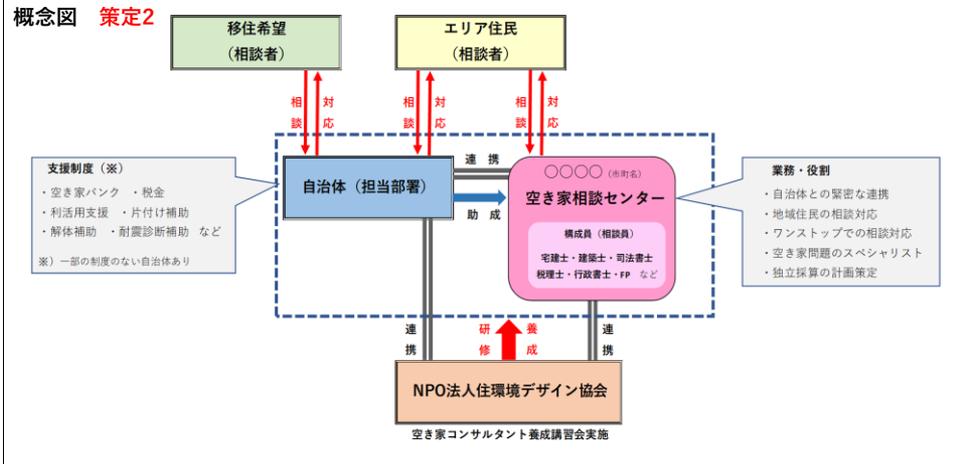


- ### 発掘試行
- ①市町からの案内 (DM)
  - ②東京広島県人会からの案内 (HP・メルマガ)
  - ③高校同窓会からの案内 (メール等)
- ### 開催催事と内容
- ① 11/21故郷の空き家無料相談会開催
    - ・東京会場10組 (広島とはオンライン)
    - ・広島の専門家が電話対応12組 (会場に来られなかった方)
  - ② 1/23空き家セミナー/相談会開催 (相談2件)
- ### 関連催事
- ① 12/11移住・2拠点ワーク検討者向けオンラインセミナー (参加23名)



- ### 取組結果
- ①市町との連携奏効 (信頼安心感)
  - ②複数の相談員同時対応 (解決・理解が早くなる)
  - ③地元専門家の対応 (所在地の具体的な実情が聞ける)

## 2. 市町における官民連携相談体制広島モデル



- ### 相談者の思い
- ①安心・信頼できる窓口で相談したい
  - ②なるべく早く解決したい
- ### 市町の相談窓口
- ①縦割りで融通性に欠ける
  - ②相談時間に制限
  - ③回答内容に制約
- ### 課題解決のポイント
- ①地元精通した相談員配置
  - ②ワンストップ対応
  - ③身近な相談窓口
  - ④当協会が相談員育成に協力
  - ⑤市町の相談窓口の限界をクリアできる
- ### モデル構築に向けた取り組み
- ①官民連携JA呉セミナー・相談会開催 (12/9)
  - ②JA呉支店長対象研修会実施
  - ③ワンストップ対応マニュアル策定 策定3
  - ④空き家相談の分野別基礎知識策定 策定4

## 3. 上記以外の事業策定 (1~4は上述)

- 策定5 空き家利活用におけるケース別利活用促進策策定
- 策定6 広島県への移住あるいは2拠点ワーク等検討者発掘の仕組み策定
- 制作物 DIYによる改修動画2本制作 (各4分)